

和歌山県主要農作物奨励品種特性表

和歌山県

[水 稻]

種類	早晩性	品種名	両親の組み合わせ	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	草型	脱粒性	耐病性				耐倒伏性	玄米収量 (kg/a)	玄米千粒重 (g)	品質	採用年次	栽培適地	栽培上の注意	
											穂発いもち	葉いもち	葉枯	紋枯								
うるち	極早生	ハナエチゼン	越南122号×フクヒカリ	8.05	9.07	74.3	19.2	320	偏穂数	やや難	中	中	弱	中	やや強	46.1	22.9	上下	平成6年	紀中～紀北 平坦地 中庸～肥沃地	早期茎数確保 2毛作体型に適する 縞葉枯病に弱い	
		イクヒカリ	越南148号×どんとこい	8.08	9.13	77.0	18.3	270	中間	難	難	中	中	弱	弱	強	49.3	22.7	上下	平成18年	県下全域 平坦地～中山間 中庸～肥沃地	出穂期まで葉色うすい 登熟期の肥切れで品質低下しやすい 縞葉枯病に弱い
		キヌヒカリ	(収2800/北陸100号)F1 ×北陸96号	8.10	9.15	81.7	17.9	291	中間	難	やや易	やや弱	やや弱	弱	弱	やや強	50.8	22.1	上下	平成2年	県下全域 平坦地～中山間 中庸地	穂数やや少なく早期茎数確保 肥沃地では稈が伸長しやすい 刈遅れで穂発芽しやすい
		コンヒカリ	農林22号×農林1号	8.11	9.16	89.9	18.5	315	中間	難	難	弱	弱	中	中	弱	54.6	21.9	中上	昭和35年	紀中～紀南 平坦地 中庸地	倒伏、いもち病に弱い
		つや姫	山形70号×東北164号	8.12	9.17	79.9	18.7	320	中間	難	中	不明	強	罹病性	不明	やや強	57.1	21.8	上中	平成29年	県下全域 平坦地 中庸～肥沃地	特別栽培もしくは有機栽培で栽培する 極端な早植を避け、白未熟粒発生を抑える
	早生	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	8.12	9.19	70.1	19.8	324	中間	難	難	中	やや強	抵抗性	不明	強	56.0	23.5	上中	令和4年	県下全域 平坦地～中山間 中庸～肥沃地	白葉枯病に弱い
	中生	きぬむすめ	キヌヒカリ×祭り晴	8.20	9.27	79.2	16.9	313	中間	難	やや難	中	中	中	中	強	55.3	22.4	上中	平成21年	紀北～紀中 平坦地 中庸～肥沃地	幼穂分化期までの多肥で登熟低下しやすい 間断灌水励行で根の活力維持
	晩生	ヒノヒカリ	黄金晴×コシヒカリ	8.24	10.03	78.4	17.9	326	偏穂数	難	難	やや弱	やや弱	中	中	やや強	49.8	22.0	上下	平成5年	紀北～紀中 平坦地 中庸～肥沃地	肥沃地では稈が伸長しやすい
		にこまる	きぬむすめ×北陸174号	8.28	10.09	84.9	18.4	287	中間	難	中	やや弱	やや弱	罹病性	中	やや強	54.8	23.1	上中	平成29年	紀北～紀中 平坦地 中庸～肥沃地	発芽・苗の伸長が早いため、徒長しないよう管理する 登熟期の気温確保のため、極端な遅植を避ける
	もち	早生	モチミノリ	喜寿糯×関東125号	8.20	10.01	74.8	21.7	294	偏穂数	難	難	中	中	極強	中	強	51.7	22.2	中中	平成6年	県下全域 平坦地 中庸～肥沃地

注) データは農業試験場の奨励品種決定調査(平成27～令和3年度)の平均値。移植期は6月15日。「にじのきらめき」は平成28～令和3年度の平均値(移植期は6月14日)。「モチミノリ」は平成24～30年度の平均値(移植期は6月15日)。

[大 豆]

種類	品種名	早晩性	両親の組み合わせ	播種期 (月・日)	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)	生態型	莖長 (cm)	主莖節数	分枝数 (本)	胚軸色	花色	莢の毛茸				子実			耐病性		蔓化の難易	品質	採用年次	栽培適地	栽培上の注意
													多少	色	種皮色	へその色	粒型	大小	百粒重	紫斑	褐斑					
秋	タマホマレ	中	Lee×フジミジロ	6.12	7.28	10.27	ⅢC	56.1	15.2	7.5	茶	紫	多	白	黄	黄	玉	中の大	30.1	中	強	難	上中	昭和56年	県下全域	

注) データは県農業試験場の奨励品種決定調査のもの。

(令和5年4月)